

Dell™ PowerEdge™ システム用
Microsoft® Windows Server® 2003 R2,
Standard and Enterprise
x64 Editions With SP2

重要情報



メモおよび注意



メモ：コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。



注意：ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その危険を回避するための方法を説明しています。

本書の内容は予告なく変更されることがあります。

© 2007 すべての著作権は Dell Inc. にあります。

Dell Inc. の書面による許可のない複製は、いかなる形態においても厳重に禁じられています。

本書に使用されている商標：Dell、DELL ロゴ、OpenManage、および PowerEdge は Dell Inc. の商標です。Microsoft、Windows、および Windows Server は米国その他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Broadcom は Broadcom Corporation の登録商標です。Intel および SpeedStep は Intel Corporation の登録商標です。

本書では、必要に応じて上記以外の商標や会社名が使用されている場合がありますが、それらの商標や会社名は、一切 Dell Inc. に帰属するものではありません。

目次

サポートされている最も低いバージョン — BIOS、システムファームウェア、 および RAID コントローラドライバ	5
信頼済みサイトのブラウザへの追加	11
R2 の Hardware Management コンポーネント	11
Windows のライセンス認証の要件	15
既知の問題	15
索引	19

本書には、Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 に関する重要な情報が記載されています。

本書では、以下の項目について説明します。

- サポートされている BIOS、システムファームウェア、RAID コントローラドライバの最も低いバージョン
- 信頼済みサイトのブラウザへの追加
- Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 の Hardware Management コンポーネント
- Microsoft Windows® のライセンス認証の要件
- 既知の問題

➡ 注意：ウイルス感染を防止するために、別のシステムを使用して Microsoft のウェブサイト www.microsoft.com から、推奨されているパッチ、修正プログラム、サービスパックをダウンロードすることをお勧めします。アップデートをシステムにインストールする前に、システムがネットワークに接続されていることを確認してください。

サポートされている最も低いバージョン — BIOS、システムファームウェア、および RAID コントローラドライバ

メモ：本項の表には、該当する Dell PowerEdge™ システムで Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 をサポートするための最小要件を示しています。Dell PowerEdge Service and Diagnostic Utilities メディアまたはデルサポートサイト support.dell.com/support/downloads にある最新の BIOS、ファームウェア、およびドライバを使用することを強くお勧めします。

Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 をサポートする PowerEdge システム、およびサポートされている BIOS およびベースボード管理コントローラ (BMC) ファームウェアの最も低いバージョンのリストを表 1-1 に示します。

表 1-1 サポートされている最も低いバージョン — BIOS/BMC

PowerEdge システム	サポートされている BIOS/BMC のバージョン
830	A04/A04 またはこれ以降
840	A02/A02 またはこれ以降
850	A04/A04 またはこれ以降
860	A02/A02 またはこれ以降
1800	A07/A08 またはこれ以降
1850	A06/A09 またはこれ以降
1855	A05/A04 またはこれ以降
1900	1.2.0/A02 またはこれ以降
1950	1.2.0/A06 またはこれ以降
1955	1.1.0/A03 またはこれ以降
2800	A06/A09 またはこれ以降
2850	A06/A09 またはこれ以降
2900	1.2.0/A04 またはこれ以降
2950	1.2.0/A04 またはこれ以降
2970	1.0.0/A00 またはこれ以降
6800	A04/A09 またはこれ以降
6850	A04/A09 またはこれ以降
6950	1.1.2/A02 またはこれ以降
SC430	A04 またはこれ以降
SC440	1.2.0 またはこれ以降
SC1420	A04 またはこれ以降
SC1425	A03/A07 またはこれ以降
SC1430	1.1.0 またはこれ以降
SC1435	1.1.0/A03 またはこれ以降

ネイティブドライバは OS に含まれていますが、非ネイティブドライバは含まれていません。非ネイティブドライバとユーティリティは、デルサポートサイト [support.dell.com /support/downloads](http://support.dell.com/support/downloads) からダウンロードできます。または、Dell システムに付属の Dell PowerEdge Service and Diagnostic Utilities メディアに収録されています。

お使いのシステムが表 1-1 と表 1-2 のどちらにも載っていない場合は、システムのマニュアルを参照して、Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 がサポートされているかどうかを判断してください。

利用可能な RAID コントローラ用のシステムファームウェアおよびドライバのサポートされている最も低いバージョンを表 1-2 に示します。

表 1-2 サポートされている最も低いバージョン — システムファームウェアおよび RAID コントローラドライバ

製品および対応プラットフォーム	最低必要なファームウェアバージョン	最低必要なドライババージョン	ドライバが OS に含まれているかどうか
PowerEdge 1950、2900、2950 上のシリアル接続 SCSI (SAS)5/i Integrated	00.10.49.00.06.12.02.00 またはこれ以降	1.24.04.00 またはこれ以降	×
PowerEdge 1950、2950、2970 上の SAS 5/E	00.10.49.00.06.12.02.00 またはこれ以降	1.24.04.00 またはこれ以降	×
PowerEdge 840、860、SC440、SC1430、SC1435 上の SAS 5/iR	00.10.49.00.06.12.02.00 またはこれ以降	1.24.04.00 またはこれ以降	×
PowerEdge 1955 上の SAS 5/iR	00.10.49.00.06.12.02.00 またはこれ以降	1.24.04.00 またはこれ以降	×
PowerEdge 1950、2900、2950 上の PowerEdge Expandable RAID Controller(PERC)5/E アダプタ	5.1.1-0040 またはこれ以降	2.8.0.64 またはこれ以降	×

表 1-2 サポートされている最も低いバージョン—システムファームウェアおよび RAID コントローラドライバ (続き)

製品および対応プラットフォームフォーム	最低必要なファームウェアバージョン	最低必要なドライババージョン	ドライバが OS に含まれているかどうか
PowerEdge 1950、2900、2950 上の PERC 5/i アダプタ	5.1.1-0040 またはこれ以降	2.8.0.64 またはこれ以降	×
PowerEdge 1950、2900、2950 上の Adaptec 39320/39320A	4.30.1 またはこれ以降	7.0.0.1	×
PowerEdge 1950、2900、2950 上の PERC 4e/DC	522A またはこれ以降	6.46.3.64 またはこれ以降	○
PowerEdge 1800、1850 上の PERC 4/SC	352B またはこれ以降	6.46.3.64 またはこれ以降	○(ネイティブ)
PowerEdge 1800、1850、2800、2850、6800、6850 上の PERC 4/DC	352B またはこれ以降	6.46.3.64 またはこれ以降	○
PowerEdge SC1420、1800 上の PERC 320/DC	5813 またはこれ以降	4.0.0.5818 またはこれ以降	× (非ネイティブ)
PowerEdge SC1420、SC1425、1800 上の Adaptec U320 SCSI RAID 0 または 1	4.30.455 またはこれ以降	2.00.00.3635 またはこれ以降	×
Adaptec 39160	3.10 またはこれ以降	5.2.3790.3959 またはこれ以降	○
PE1855MC 上の Perc 4/im	1.03.23 またはこれ以降	5.2.3790.3959 またはこれ以降	○
1020/1030 内蔵	1.03.23 またはこれ以降	5.2.3790.3959 またはこれ以降	○

表 1-2 サポートされている最も低いバージョン — システムファームウェアおよび RAID コントローラドライバ (続き)

製品および対応プラットフォームフォーム	最低必要なファームウェアバージョン	最低必要なドライババージョン	ドライバが OS に含まれているかどうか
PowerEdge SC1420、SC1425、1800 上の CERC シリアル ATA(SATA) 2s RAID 0 または 1	—	6.0.3643.4 またはこれ以降	×
CERC SATA 6CH	4.1.0.7417 またはこれ以降	4.1.1.7038 またはこれ以降	×
PowerEdge 1850 上の PERC 4e/Si	522A またはこれ以降	6.46.3.64 またはこれ以降	○
PowerEdge 2800、2850、6800、6850 上の PERC 4e/Di	522A またはこれ以降	6.46.3.64 またはこれ以降	○

ドライバとファームウェアは、Dell PowerEdge Service and Diagnostic Utilities メディアと System Support メディアに収録されています。デルサポートサイト **support.dell.com** からダウンロードすることも可能です。

 **メモ**：Windows Server 2003 R2, x64 Edition 用のハードウェア構成について Microsoft が公表している最小要件と推奨される要件については、Microsoft のウェブサイト www.microsoft.com/windowsserver2003/64bit/x64/sysreqs.mspx を参照してください。

 **メモ**：デルではシステムのパーティションとして 12 GB を確保することをお勧めします。デルが工場出荷時にインストールするイメージおよび Dell PowerEdge の Installation and Server Management メディアのデフォルト設定は、12 GB です。

Execute Disable (XD) および Enhanced Intel® SpeedStep® Technology (EIST) をサポートする BIOS の最小要件を表 1-3 に示します。Intel EM64T をベースとする Dell PowerEdge システムは、Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 の次の機能をサポートしています。

- **データ実行防止 (DEP)**。この機能は、2004 年 10 月以降に出荷された対応済み PowerEdge システムに組み込まれている XD 対応プロセッサを必要とします。

- プロセッサの電源消費とパフォーマンスのバランスの取れたシステム。この機能は、サポートされている Intel プロセッサで EIST を利用します。この OS 機能のサポートは、プロセッサのモデル、周波数、およびステッピングによって異なります。

 **メモ**：DEP と System Balanced Processor Power and Performance（プロセッサの電源消費とパフォーマンスのバランスの取れたシステム）は、Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 におけるハードウェアのサポートを必要とする機能です。

表 1-3 Dell PowerEdge システム上で XD および EIST をサポートするための BIOS の最小要件

Dell PowerEdge システム	XD のサポートに最低必要な BIOS のリビジョン	EIST のサポートに最低必要な BIOS のリビジョン
830	A04	A04
840	A02	A02
850	A04	A04
860	A02	A02
1800	A07	A07
1850	A06	A06
1855	A05	A05
1900	1.2.0	1.2.0
1950	1.2.0	1.2.0
1955	1.1.0	1.1.0
2800	A06	A06
2850	A06	A06
2900	1.2.0	1.2.0
2950	1.2.0	1.2.0
6800	A04	A04
6850	A04	A04
SC430	A04	A04
SC440	1.2.0	1.2.0
SC 1420	A04	EIST はサポートされていません
SC 1425	A03	A03
SC1430	1.1.0	1.1.0

信頼済みサイトのブラウザへの追加

Microsoft の高度なセキュリティ基準により、インターネットまたはイントラネットのサイトにはじめてアクセスする場合、サイトを信頼済みサイトゾーンに追加するように求めるメッセージが表示される場合があります。

信頼済みサイトをブラウザに追加するには、次の手順を実行します。

- 1 ツール メニューで **インターネットオプション** をクリックします。
インターネットオプション ウィンドウが表示されます。
- 2 **セキュリティ** タブ をクリックします。
セキュリティ タブのメニューが表示されます。
- 3 **信頼済みサイト** をクリックします。
- 4 **サイト** をクリックします。
信頼済みサイト ウィンドウが表示されます。
- 5 次の **Web サイトをゾーンに追加する** フィールドにサイトのアドレスを入力して、**追加** をクリックします。
Web サイト ボックスにサイトが表示されます。
- 6 手順 5 を繰り返して他のサイトを追加し、**閉じる** をクリックします。
インターネットオプション ウィンドウが表示されます。
- 7 **OK** をクリックします。

R2 の Hardware Management コンポーネント

Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2

には、Hardware Management と呼ばれるオプションのコンポーネントが含まれています。Hardware Management には、システムハードウェアの管理を改善する一連の機能があります。

 **メモ**：Hardware Management コンポーネントの詳細については、Microsoft のウェブサイト

www.microsoft.com/technet/scriptcenter/preview/wsm/intro.mspx で関連する情報を参照してください。

 **メモ**：追加の R2 コンポーネントをインストールする詳細な手順については、ユーザズガイドのウェブサイト www.dell.com/ostechsheets で、Dell PowerEdge システム用 Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 の『インストール/セットアップガイド』を参照してください。

BMC が含まれているシステムに Hardware Management コンポーネントをインストールする際に、次のメッセージが表示される場合があります。

An IPMI device has been registered within the system BIOS; all 3rd party IPMI drivers must be removed from the system prior to installation in order to prevent system instability; if all 3rd party drivers have been removed or you wish to ignore this risk press 'OK' otherwise press 'Cancel'. (システム BIOS 内には、IPMI デバイスが登録されています。システムが不安定になることを避けるには、インストールを実行する前にサードパーティの IPMI ドライバをすべてシステムから削除する必要があります。すべてのサードパーティ製ドライバが削除されているか、またはこのリスクを無視する場合は、OK を押します。それ以外の場合は キャンセル を押します。)

続行する前にサードパーティ製のインテリジェントプラットフォーム管理
インタフェース (IPMI) ドライバをすべてアンインストールすることをお勧めします。

 **メモ** : Dell OpenManage™ 4.5.x では R2 IPMI ドライバは使用できず、Dell IPMI ドライバが必要です。第 8 世代の PowerEdge システムの管理に Dell OpenManage 4.5.x を使用する場合は、システムに R2 IPMI をインストールしないことをお勧めします。各種 Dell OpenManage に R2 IPMI ドライバを使用した場合の影響、および Dell OpenManage において発生し得る制約の詳細については、デルサポートサイト support.dell.com で『What Versions of Dell OpenManage are Supported in Microsoft Windows Server 2003 R2?』(Microsoft Windows Server 2003 R2 でサポートされている Dell OpenManage のバージョン) を参照してください。

Hardware Management コンポーネントをインストールした後で、(必要に応じて) 次のコマンドを使用して IPMI デバイスドライバを手動でインストールします。Rundll32 ipmisetp.dll, AddTheDevice
IPMI デバイスは、**デバイスマネージャ**を開くと、**システムデバイス**の下の **Microsoft Generic IPMI Compliant Device**(Microsoft のジェネリック IPMI 対応デバイス) という項目の下に表示されます。

R2 の Hardware Management コンポーネントと IPMI ドライバは、IPMI バージョン 1.5 およびそれ以降をサポートする BMC を備えた PowerEdge システムのみをサポートします。R2 IPMI ドライバは、IPMI バージョン 1.0 をサポートする BMC を備えた PowerEdge システムをサポートしていません。これらのシステムは、Dell OpenManage IPMI ドライバを引き続き使用できます。

表 1-4 は、PowerEdge システムにおける R2 IPMI ドライバと Dell OpenManage IPMI ドライバのサポートマトリクスを示したものです。

**表 1-4 R2 IPMI および Dell OpenManage
IPMI ドライバのサポートマトリクス**

PowerEdge システム	R2 IPMI ドライバのサポート	Dell OpenManage IPMI ドライバのサポート
830	○	○
840	○	○
850	○	○
860	○	○
1800	○	○
1850	○	○
1855	○	○
1900	○	○
1950	○	○
1955	○	○
2800	○	○
2850	○	○
2900	○	○
2950	○	○
2970	○	○
6800	○	○
6850	○	○
6950	○	○
SC430	○	○
SC440	○	○
SC1420	○	○
SC1425	○	○
SC1430	○	○
SC1435	○	○

Windows のライセンス認証の要件

デルから提供された『再インストール用』メディアを使用してインストールを行ったシステムの場合、Microsoft 製品のライセンス認証は不要です。



メモ：デルから購入されたメディアを使用しない場合は、Windows のライセンス認証 ウィンドウでライセンス認証が求められます。



メモ：OS の再インストールの詳細については、Dell PowerEdge システム用 Microsoft Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 の『インストール/セットアップガイド』を参照してください。

既知の問題

本項では、Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 に関する既知の問題について説明します。



メモ：Windows Server 2003 R2 x64 に関するその他の問題については、www.dell.com/ostechsheets で Microsoft Windows Server 2003 R2 Standard/Enterprise x64 Edition の『重要情報』を参照してください。

- **OS の無人インストール中に静的 IP アドレスを仮想バスドライバのネットワークインタフェースに割り当てる操作が失敗する。**

OS のインストールが完了すると、無人ファイル内の

TcpipParams.AdapterX セクションに指定されているすべてのパラメータがデフォルト値に戻ります。この問題は、Broadcom® 5708 など、仮想バスドライバモデルを使用しているすべてのネットワークカードで発生します。

OS はデバイスノードを使用してすべてのデバイスを追跡します。ネットワークカードのデバイスノードは仮想バスに接続されており、仮想バスデバイスには PCI マッピングデータが含まれていません。Windows の無人インストーラは、デバイスとその適切な設定の照合に PCI マッピングデータを使用します。ネットワークカードの仮想バスデバイスには PCI マッピングデータが含まれていないため、Windows の無人インストーラはネットワークカードを検出しません。

この問題を回避するには、無人ファイルの **TcpipParams.AdapterX** セクションにある MAC (Media Access Control) アドレスを使用します。デルサポートサイト **support.dell.com** から最新のネットワークドライバをダウンロードしてください。詳細については、デルサポートサイト **support.dell.com** で『Best Practices for Installation of Microsoft Windows on Dell Servers with Broadcom NetXtreme Devices』(Broadcom NetXtreme デバイスが装備された Dell サーバーに Microsoft Windows をインストールする最善手順) を参照してください。

- **デバイスマネージャ内でストレージバックプレーンが黄色い警告マークとして表示される。**

この問題が発生するのは、Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 を特定のストレージバックプレーンにインストールする場合です。OS の一部であるバックプレーンの **.inf** ファイルには、最新のサーバーバックプレーン用のエントリがない場合があります。

この問題を解決するには、デルサポートサイト **support.dell.com** から最新の **.inf** ファイルをダウンロードしてください。OS が工場出荷時にインストール済みであるか、または Dell OpenManage Server Assistant を使用してインストールした場合には、この問題は発生しません。インストール処理中に最新の **.inf** ファイルがインストールされるためです。

- **x64 の Windows Deployment Services(WDS)を x64 ベースのクライアントコンピュータにインストールしようとすると、インストールが開始しない。**

WDS を実行している Windows Server 2003 ベースのシステムから x64 ベースのクライアントシステムに x64 をインストールすると、次のエラーメッセージが表示される場合があります。

```
PXE-T01: File not Found
```

```
PXE-E3B: TFTP Error - File not Found
```

この問題が発生するのは、クライアントコンピュータが WDS に対して正しくないアーキテクチャを報告するためです。

この問題を回避するには、**Wdsutil.exe** コマンドラインツールを使用して WDS 内のアーキテクチャの検出を有効にします。サーバーのコマンドプロンプトに次のコマンドを入力してください。

```
wdsutil /set-server /architecturediscovery:yes
```

詳細については、Microsoft サポートサイト support.microsoft.com で技術情報の記事 932447 および 222177 を参照してください。

- **IPMI ドライバが、デバイスマネージャ内で黄色い警告マークとして表示される。**

R2 IPMI ドライバを、BMC で設定されていないシステムに手動でインストールした場合、**デバイスマネージャ** 内でそのドライバに黄色い警告マークが表示され、ドライバが起動できなかったことを示すメッセージが表示されます。

これは予期される動作です。ドライバが BMC と通信できないからです。

この問題を回避するには、BMC がサポートまたはインストールされていないシステムには IPMI ドライバをインストールしないでください。

- **Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 を実行しているシステム上の MSCS (Microsoft Clustering Services) の有効化。**

Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 を実行しているシステム上で MSCS を有効にするには、R2 の追加コンポーネントをインストールする前に MSCS を設定する必要があります。追加の R2 コンポーネントがインストールされている場合はいったんアンインストールし、MSCS を設定してから R2 コンポーネントを再インストールします。この手順を実行することで、R2 コンポーネントはクラスタ環境内で正常に機能するようになります。

- **サードパーティのハイパーターミナルとの互換性の問題。**

Windows Server 2003 R2, Standard/Enterprise x64 Edition With SP2 と Hilgraeve HyperTerminal v6.3 などの一部のターミナルエミュレーションプログラムとの間には互換性の問題があり、2 台のシステムの間にはシリアル接続を確立することができません。

- **Intel I/O Controller Hub (サウスブリッジ) として ICH5R または ICH6R が装備されている PowerEdge システムのオンボード SATA コントローラが Ultra ATA コントローラとして表示される。**

Microsoft では、オンボード SATA コントローラに IDE ポートドライバ (**atapi.sys**) を使用しています。ポートドライバに属する **.inf** ファイルのデバイスの説明部分は、SATA コントローラ用にアップデートされません。これが原因で、PowerEdge システムのオンボード SATA コントローラが、Ultra ATA Storage Controller -24D1 または Ultra ATA Storage Controller-2652 として表示されます。

索引

B

BIOS

- EIST をサポートするための最小要件, 9-10
- XD をサポートするための最小要件, 9-10
- サポートされている最も低いバージョン, 5-10

BMC, 5-6

D

DEP, 9-10

E

EIST, 9-10

Enhanced Intel SpeedStep
Technology 6

「EIST」を参照

H

Hardware Management, 12

I

Intel, 9-10

IPMI

- R2 ネイティブ IPMI ドライバのサポートマトリクス, 14
- デバイス, 12
- ドライバ, 12

M

Microsoft, 11

Microsoft® Windows Server™
2003 R2, 5

R

RAID コントローラ
最も低いドライバのバージョン, 5-10

W

Windows Server 2003 R2
重要情報, 12

X

XD, 9-10

き

黄色い警告マーク, 15

既知の問題

IPMI ドライバが黄色い警告
マークとして表示さ
れる, 17

し

システムソフトウェア
サポートされている最も低い
バージョン, 5-10

信頼済みサイト
ブラウザへの追加, 11

重要情報

Windows Server 2003 R2, 12

て

データ実行防止
「DEP」を参照, 10

デバイスマネージャ
黄色い警告マーク, 15

ね

ネイティブおよび非ネイティブ
のドライバ, 7

は

ハードウェア構成, 9

ふ

プロセッサの電源消費とパ
フォーマンスのバランスの
取れたサーバー, 10

へ

ベースボード管理コントローラ
「BMC」を参照